



学校だより

# 清流

立山中央小学校

令和2年12月

## 発想の転換「ピンチをチャンスに」

一年前の学校だより「清流」では、スポーツ選手の活躍や今年開催予定だった東京オリンピック・パラリンピック等、明るい話題を取り上げていました。その数ヶ月後から新型コロナウイルスの感染が広がり、今も不安な状況が続いています。

学校では、臨時休業措置が取られ、解除後も例年通りの行事や活動を行うことができませんでした。とかく学校という所は「本校では～」「例年は～」というように、前年度踏襲が多いのですが、今年は「～するわけにはいかない」「代わりに～したらどうだろう」「～だったらできるかな」と見直しや創意工夫を余儀なくされました。

しかし、これこそが発想の転換につながり「ピンチをチャンスに」変える絶好の契機になったと捉え、来年以降の取組にぜひ生かしていきたいと考えています。

ご家庭におかれましても、これまでの「当たり前」だったことを白紙に戻して「どんなとき、誰が、どうすればよいか」について、家族で話し合われてみてはいかがでしょうか。

本校でも、来年が活気に溢れる一年となるよう、今年の振り返りや見直しを行い、これまで以上に「自分らしさを発揮し、輝く子供の育成」に努めてまいります。



## 立山町教育委員会表彰

12月23日、県内で優秀な成績を収めた子供たちが表彰されることとなりました。

- 高浦 圭輝（5年1組）「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文 知事賞
- 瀧本 快光（5年1組）「歯・口の健康に関する図画・ポスター」 最優秀賞
- 高浦 寛季（5年3組）「とやま県民家庭の日」作文 富山県知事賞
- 田中 優惺（6年1組）「地球温暖化防止活動」壁新聞 最優秀賞
- 鶴飼 心優（6年2組）「わたしたちのまちのおまわりさん」作文 全国優秀賞
- 萩中 結生（3年3組） 全国小学生棋童戦富山県大会低学年の部 優勝

この他にも、自分の得意なことや好きなことに一生懸命取り組んでいる子供がたくさんいます。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツの大会は例年通りには実施されませんでした。作品応募に挑戦した子供が多くいました。新聞社主催の新年作品コンクールの結果も楽しみです。

目標をもって地道な努力を続ければ、いつか報われる日がくると信じて、これからも子供たちが各種スポーツや文化活動等に積極的に取り組んでくれるよう願っています。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年一年間、子供たちや学校のために格別のご理解とご協力・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様がよい年を迎えられますようお祈り申し上げます。